

雇用企業主様から



東日本大震災における即応予備自衛官の活動について

高山建設工業株式会社 代表取締役 西村 敏朗

高山建設工業株式会社は、昭和56年の創業以来、火力発電所機器の点検、整備、補修業務を中心に、上下水プラントの設計・施工および維持補修、石油関係施設の維持補修工事など、技術に根ざした事業を展開して参りました。平成18年にはISO9001、14001規格認証を取得し、品質の確保とともに環境対策にも配慮しながら事業活動を継続しております。今後も技術レベルを維持・向上させていくため、人材育成には特に力を入れているところです。

弊社には社員70名が在籍しており、その中に自衛隊出身者が5名、うち2名が即応予備自衛官として活躍しております。彼らは火力発電所関連業務に携わる営業所に在籍しており、技術を身につけながら毎日の業務に取り組んでいただいております。また、即応予備自衛官の訓練期間は、繁忙期となる火力発電プラントの定期補修時期を避けて設定していただいております。業務への配慮にも感謝しているところです。

今回、未曾有の東日本大震災に見舞われ、社員個人を含めて大きな影響がありました。特に被災地に居を構える社員の被害は甚大で、私自身被災社員の支援にも向かいましたが、その時目にした被災地での自衛隊の救援活躍には、本当に頭が下がる思いで一杯でした。自衛隊救援部隊の車列をこれほど身近に、また頼もしく感じたことは忘れられません。

このような中、即応予備自衛官本人から救援活動への招集について報告を受け、迷うことなく送り出した次第です。弊社営業所では、彼らの担当業務を残った社員がカバーし、一致協力して対応したことが社員の士気向上にも繋がったものと考えております。

今回の任務については、人には言えない苦労や厳しさがあったものと思いますが、被災地での貢献度は筆舌に尽くしがたいものがあります。今後とも彼らの即応予備自衛官としての活動を支えていくことにより、間接的ではありますが企業としての社会貢献を果たしていきたいと考えております。

